

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	191 男女共同参画講座事業経費	会計	01	一般会計
基本 施策	41 あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる	款	02	総務費
		項	01	総務管理費
施策	2 男女の人権の尊重	目	19	男女共同参画費
		細目	101	男女共同参画推進経費
		細々目	03	男女共同参画講座事業経費
基本計画該当		155		行革大綱の重点事項番号
		6		
担当部課	コード 751000	評価者 氏名	中 義晴	
	名称 青山支所 人権同和課	連絡先	52 - 3232 (内線) 201	

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	管内の市民等(市民・企業・団体等)  (※対象件数)	参加者一人ひとりが、男女共同参画について学ぶことができる。
事業内容	地域における男女共同参画のリーダー育成のため市民を対象に講座等を実施した。 ・女性の人権講座(人権・解放講座)(6月27日) ・男女共同参画地域リーダー研修 ・人権啓発地区別懇談会における討議課題の提供	男女が互いに人権を尊重しながら、あらゆる分野にともに参画して、喜びも責任も分かち合うことが重要であるが、家事や育児、介護等の仕事においては女性の役割であるという性別役割分担意識がまだ強く残っている。特に生活上の具体的な問題になると、高齢者の男女に、固定的な性別役割分担の意識を持っている人が多い現状である。
根拠法令・要綱等	伊賀市男女共同参画推進条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

年度	進捗状況	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容				
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額		
委託	↔	報酬費(講師)		10	報酬費(講師)		30	報酬費(講師)		30	報酬費(講師)		30	報酬費(講師)		30	報酬費(講師)		30		
		需用費(消耗品)		3	需用費(消耗品)		4	需用費(消耗品)		4	需用費(消耗品)		4	需用費(消耗品)		4	需用費(消耗品)		4		
工事	↔																				
進捗率(%)		事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)				
		Σ	13	Σ	34	Σ	34	Σ	34	Σ	34	Σ	34	Σ	34	Σ	34	Σ	34		
事業投入人員		人件費(B)	1.0	人	7,200	人件費(B)	1.0	人	7,200	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	0.5	人	3,600
フルコスト(A)+(B)		7,213			7,234			3,634			3,634			3,634			3,634				

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	13	34	34	34	34
Aの財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
受益者負担					
その他					
一般財源	13	34	34	34	34
計	13	34	34	34	34
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
男女共同参画地域リーダー研修開催回数	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
男女共同参画地域リーダー研修参加者数	管内の各種団体等を対象に開催し、地域における男女共同参画リーダーの育成を図る。	人	目標 50 実績 50	目標 60 実績 90	60	60
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	夫婦共働きや、核家族化が進み、若い世代を中心として、男性も家事、育児に積極的に取り組む人が多くなってきている。しかし、男性自身の意識の中では、協力してあげているという意識が少なからずあることは歪めない。親との同居世帯や高齢世帯ではまだ性別役割分担意識がある。今後さらに、真の意味での男女共同参画推進に取り組んでいく必要がある。
有効性	3	地域で日頃から積極的に男女共同参画推進に取り組んでいる者が地区別懇談会等で発言し、参加した者の意識を変えていくことが大事である。最近の男女共同参画推進に係る講演会や行事にも、男性も多く参加するようになり、核家族や共働きの男女を中心として男女共同参画意識が浸透してきているように思われる。
達成度	4	市全体での男女共同参画地域リーダー研修や講座の回数を増やし、多くの参加者を集める企画を考えていかなければならない。研修・講座への参加者はまだまだ少なく、特に男性が多く参加するような企画・方法を考えていかなければならない。昨年度の研修会については、中学生の男女を対象にしたことで、実績数は目標とする参加人数を大きく上回った。
効率性	3	非常に少ない予算の中では講師も限られてくるし、回数も多くは出来ない。支所ですべてをやっていくことは、経費、職員数から見ても厳しいといえる。文化センターの「人権・解放講座」事業の一回分を男女共同参画講座事業に入れ、経費については文化センターで支出し、講師の選定・内容・日程については、支所で企画するなど文化センターとの協力関係が必要である。また、さらに男女共同参画意識を誰もが普通に持つには、どのような方法が有効かということも検討していきたい。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	限られた予算ではあるが、その範囲内で事業を実施する。